

令和4年度 試験研究評価課題一覧

部会	評価区分	試験研究課題名	研究期間	部会評価	外部評価
農産部会	事前	「富富富」改良系統の特性検証と栽培技術の最適化	R5～R7	A	A
	〃	水稲栽培における化学肥料使用量低減に向けた緑肥栽培技術の開発	R5～R9	A	
	〃	培土作業を省力化した大豆の効率的な管理体系の構築	R5～R7	A	A
	中間	種子生産効率化技術の開発	R2～R6	A	A
	事後	肥効調節型肥料の溶出変動の解析	R2～R3	A	A
	〃	「富富富」の低コスト安定栽培技術の確立	R2～R3	A	
	追跡	多収品種「やまだわら」の飼料用安定多収技術の確立	H28～H30	a	
園芸部会	事前	環境保全に配慮した新たなチューリップ施肥法の開発	R5～R9	A	A
	〃	畑地化ほ場における輪作モデル体型の確立	R5～R8	A	
	〃	露地野菜の環境負荷低減に向けた施肥体系の確立	R5～R7	A	
	〃	ニホンナシのカイガラムシ類に対する春季防除法の確立	R5～R7	A	
	〃	温暖地リンゴのハダニ類防除に対する土着天敵活用技術の開発	R5～R9	A	
	事後	チューリップ主要病害対策試験	H28～R3	A	
	〃	チューリップ球根の地球温暖化に対応した適正な貯蔵温度の検証	H31～R3	A	
	〃	夏秋小ギク安定生産技術の確立	H31～R3	A	
	〃	加工用キャベツ等の安定生産技術の確立	H31～R3	A	A
	〃	ニホンナシ黒星病における芽基部病斑の発生軽減対策	H31～R2	A	
〃	リンゴの優良苗木育成技術の確立	R2～R3	A	A	
畜産部会	事前	県産自給飼料多給型黒毛和種肥育モデルの確立	R5～R7	A	A
	〃	畜産DXを活用した客観的受精適期判定技術の確立	R5～R7	A	A
	〃	初生子豚の活力向上を目的とした妊娠期母豚の飼養管理技術の確立	R5～R7	A	A
	〃	飼料用米を利用した周産期母豚の栄養管理並びに新生子豚の損耗軽減技術の確立	R5～R7	A	A
	事後	肉用牛ゲノミック評価を活用した「とやま肉牛」改良促進技術の開発	R1～R3	A	A
	〃	新生子豚のストレス軽減に配慮した飼養管理技術の確立	R1～R3	A	A

部会	評価区分	試験研究課題名	研究期間	部会評価	外部評価
食品加工部会	事前	県産日本酒の消費・販路拡大に向けた品質向上技術の開発	R5～R9	A	A
	〃	地球温暖化に伴う富山湾の魚種変動に対応した水産加工品の開発	R5～R8	A	A
	事後	県内産園芸作物の品質及び機能性成分評価と加工品の開発	H30～R3	A	
	〃	特産加工品の HACCP に対応した品質管理技術の確立	H30～R3	A	
	〃	菌体外多糖を生産する微生物の分離と食品製造への利用	H29～R3	A	A
森林・木材部会	事前	コウヨウザンの初期成長特性と積雪地域への適応性の解明	R5～R9	A	A
	〃	A I を活用したクロマツ海岸林の衰退樹冠の自動検出システムの開発	R5～R6	A	A
	〃	県産広葉樹を用いた中大規模建築物用造作材の開発	R5～R7	A	A
	事後	コナラの実生更新技術の開発	H29～R3	A	
	〃	県産スギ材を使用したリフォーム用建築部材の開発	R1～R3	A	
水産部会	—	漁業資源評価基礎調査事業費	R5～R9	—	
	—	サケ不漁対策調査研究費	R4～R8	—	
	—	クロモ養殖事業による二酸化炭素と窒素の吸収効果に関する研究	R5	—	
	中間	ホタルイカ来遊条件解明調査研究	R2～R6	A	A
	〃	サクラマス養殖技術向上研究	R2～R6	A	B
	事後	キジハタ等栽培漁業対象種モニタリング調査	H29～R3	A	
	〃	資源管理効果モニタリング調査	H29～R3	A	B
	〃	アカムツ種苗生産加速化研究	H29～R3	A	

評価の区分

- (1) 事前評価：新規に実施しようとする課題について、必要性や貢献可能性、研究内容が適切であるか等について予算要求前に評価を行う。
- (2) 中間評価：原則として5年以上の期間にわたる課題について、原則として開始後3年目毎に試験研究の進捗状況、社会情勢の変化等を踏まえ、研究内容が適切であるか等について評価を行う。
- (3) 事後評価：試験研究が終了した課題について、原則として終了年度にその研究成果について評価を行う。
- (4) 追跡評価：試験研究が終了した課題について、終了後数年後にその研究成果の普及状況や貢献度について評価を行う。

※評価基準

【事前評価】	【中間評価】	【事後評価】	【追跡評価】
A：優れている	A：優れている	A：優れた成果が得られた	a：高い
B：妥当	B：妥当	B：良好な成果が得られた	b：妥当
C：部分的見直しが必要	C：部分的見直しが必要	C：予定された成果にはやや至らなかった	c：やや低い
D：全体的見直しが必要	D：全体的見直しが必要	D：それほど成果は得られなかった	d：低い
E：実施せず	E：中止	E：成果が得られなかった	e：非常に低い